

世界の運転中原子力発電所の運転期間別基数
(2022年1月1日現在)

2022年1月18日
(一社) 日本原子力産業協会

国・地域	0~10年	10~20年	20~30年	30~40年	40~50年	50~60年	合計	世界比率
米国	1		2	41	41	8	93	21.6%
フランス		2	4	33	17		56	13.0%
中国	37	11	3				51	11.8%
日本		5	11	13	4		33	7.7%
ロシア	10	2	2	12	8		34	7.9%
韓国	5	5	7	7			24	5.6%
カナダ			3	10	5	1	19	4.4%
ウクライナ		2	1	11	1		15	3.5%
スペイン				7			7	1.6%
インド	2	6	7	3	2	2	22	5.1%
スウェーデン				3	3		6	1.4%
英国			1	8	3		12	2.8%
ベルギー				4	3		7	1.6%
ドイツ				3			3	0.7%
チェコ		2		4			6	1.4%
台湾				3			3	0.7%
スイス				1	2	1	4	0.9%
フィンランド				1	3		4	0.9%
パキスタン	3	1	1				5	1.2%
ブルガリア			1	1			2	0.5%
ハンガリー				4			4	0.9%
ブラジル			1	1			2	0.5%
南アフリカ				2			2	0.5%
スロバキア			2	2			4	0.9%
アルゼンチン	1			1	1		3	0.7%
メキシコ			1	1			2	0.5%
UAE	1						1	0.2%
ルーマニア		1	1				2	0.5%
ベラルーシ	1						1	0.2%
イラン	1						1	0.2%
スロベニア				1			1	0.2%
オランダ					1		1	0.2%
アルメニア					1		1	0.2%
計	62	37	48	177	95	12	431	100%
比率	14.4%	8.6%	11.1%	41.1%	22.0%	2.8%	100%	
運転年数	0~10年	10~20年	20~30年	30~40年	40~50年	50~60年	合計	

(注) 「原産協会・世界の原子力発電開発の動向 2021」、IAEA・PRIS、WNA “Information Library”などを参考に作成

- ・国名は運転中原子力発電所の設備容量の順に並んでいる。
- ・運転期間は、営業運転開始から2022年1月1日迄の期間。
- ・表中の運転期間について、例えば「10~20年」は10年以上20年未満を意味する。
- ・上表は、過去10年スパン毎の営業運転開始基数を示しているとも言える。但し、運転期間が長くなるにつれ、一部の原子炉が途中で閉鎖しているため、基数は少なくなっている。
- ・2021年に送電開始したインド、UAE、中国の各1基(計3基)は、2022年1月1日現在営業運転入りしていないので、上表のデータには含まれていない。